北　海　道

◇札幌局では放送開始80周年を迎え，多彩な番組やイベントなど記念事業を展開した。また，60回目を迎えた「さっぽろ雪まつり」関連イベントの実施など視聴者サービスの向上と地域貢献を推進することにより，視聴者との結びつきを強化し，公共放送NHKに対する支持と理解の輪を広げた。
◇世界的な経済危機は，全国でも景気の回復が遅れていた北海道に大きな打撃を与えた。雇用や自治体財政の悪化や札幌の老舗デパートの経営破たんなど，課題を多角的にとらえて発信した。
◇08年７月には，22か国の首脳が北海道に集結して，「北海道洞爺湖サミット」が開催された。札幌局一丸となり早期に体制を立ち上げた。道内７局体制でニュース・番組・イベントに取り組み，北海道の自然や環境問題を国内外に発信した。
◇08年９月11日午前に北海道東部で発生した震度５弱の地震では，北海道で初めて「緊急地震速報」を送出した。

Ⅰ．放　送

１．放送の概要

NHK北海道は，08年度，放送開始から80年を迎えた。視聴者との信頼のきずなをより確かなものにし，道内７局のネットワークを活用して北海道の“今”を伝え，北海道を“元気”にする番組を全道・全国に発信。ふれあいを大切に，地域に親しまれ，信頼される放送局を目指した。

７月には“地球温暖化対策”を主なテーマに「北海道洞爺湖サミット」が開催され，北海道の豊かな自然や，それを守る取り組みを世界に向けてアピールする絶好の機会となった。NHK北海道は，進む温暖化に警鐘を鳴らすニュース・番組や，北海道のすばらしい自然の魅力を伝える番組を制作，放送した。また，１年を通して環境保護や防災,交通事故防止キャンペーンに取り組んだ。

北海道は，07年度，自治体財政の危機や，第１次産業を取り巻く厳しい状況，医療・教育に見られる地域格差などの社会問題が浮き彫りになり，食に対する信頼も損なわれたほか，交通やライフラインにもほころびが生じていることが明らかになったが，NHK北海道はこれらの課題を多角的にとらえ，ニュースや番組を通じて解決への糸口を示したり，活性化に向けた道筋を探ってきた。また，相次いだ事件・事故，自然災害などに対する緊急報道にも的確に対応した。

07年度から道内全局で地上デジタル放送が始まって，視聴者の関心も高まる中で，普及促進や，デジタルならではのサービス充実に努めた。

（１）地域放送のいっそうの充実・強化

金曜夜間を北海道の視聴者のための時間と位置づけ，家族そろって見ることのできる番組『プライムH』を新設。ドキュメンタリーやバラエティー，討論番組など“NHK北海道だからできる”多彩な番組を毎週放送し，地域放送の充実に努めた。ふるさとのよさを再認識し，家族で楽しめる視聴者参加の公開派遣番組『とことん！ふるさとステージ』を新設し，ふるさとの魅力をゲストとともに紹介，道内各地の“元気”を発信した。

北海道に関するデータを切り口に北海道の現実に迫る『データマップ北海道』，たくましく生きる人々を描く『北海道ひと物語』，北海道の課題を視聴者とともに考える討論番組『ホンネで北海道』を継続し，人気のスポーツや地域イベント，北海道ならではの文化なども取り上げた。

北海道の課題を検証する『北海道クローズアップ』，ふるさとの魅力を再発見する『北海道中ひざくりげ』を継続し，内容の充実を図った。

道内７局のネットワーク力を生かした新しいニュース・情報番組『まるごとニュース北海道』を午後６時台に編成。北海道が抱える課題を機動的かつ継続的に伝え，身近なニュースや話題も多角的に取材し，きょう１日の北海道を伝えた。

昼前の生活情報番組『ほっからんど北海道』では，ネットワークを生かして地域の暮らしに役立つさまざまな情報や，NHKからの情報をわかりやすく伝えた。地域の人たちが主人公の「この街この笑顔」では，08年度からエリアを拡大して道内各地を訪ね，視聴者から寄せられたビデオで各地の話題を広く紹介した。さらに，道内各地の旬の釣り場をリポーターと釣りのベテランが訪ねる紀行番組『北海道釣り紀行』を４本制作し，新たな視聴者層の獲得に努めた。

北海道の雄大な自然を通して環境保護を訴えるミニ番組『エコは北から。』（08年１月から），『The WONDER of NATURE in HOKKAIDO』（08年３月から）を放送したほか，防災や交通事故防止などのキャンペーン活動に積極的に取り組んだ。

（２）北海道ならではの文化や情報の全国発信

「北海道洞爺湖サミット」開催を機に，温暖化防止や環境保護について考える番組や雄大な自然

と命の営みをテーマにした自然番組を制作し，全国に発信した。ミニ番組『The WONDER of NATURE in HOKKAIDO』は，北海道ブロック放送のほか，NHKワールドTVでも放送し，北海道の魅力を海外にも紹介した。また，食や観光など全国の人が知りたい情報や，長引く不況や財政危機など北海道が直面する厳しい状況をニュースや番組で全国に伝えた。北海道発のラジオ全国定時番組『もぎたて！北海道』を新設し，豊かな自然，新鮮な食べ物や温泉などの情報を発信した。

『さわやか自然百景』は11年目を迎え，日曜朝の定番となり，08年度は12本を道内局が制作した。

スポーツ中継では，札幌ドームでのプロ野球・北海道日本ハムファイターズの試合を，衛星第1で6試合，総合テレビで1試合中継し，北海道地方向けに5試合放送した。

定時番組にも積極的に取り組んだ。総合テレビでは，『ダーウィンが来た！生きもの新伝説』「まるでイソップ？札幌リス物語」(6.1)，「キタキツネ　母と娘で共同子育て」(12.14) や『プロフェッショナル　仕事の流儀～野生の命をあきらめない～獣医師・齊藤慶輔』(6.10)，『生活ほっとモーニング～クイズdeなっとく！in北海道』「魅惑の食材大研究　ウニ」「奥尻　15年目の夏」「発見！とっておきの旅　石井正則さんと行く霧多布湿原」「この人にトキメキっ！　三浦雄一郎」(7.28～8.1) などを制作，放送した。

教育テレビでは，『一期一会　キミにききたい！～人を助ける話@札幌.ホームレス支援の現場』(10.18)，『あしたをつかめ～平成若者仕事図鑑～大地の恵みをボトルにつめて～ワイン醸造家』(1.31) などを制作，放送した。

衛星放送では，『ハイビジョンふるさと発』「子供たちは　ジャンプ台で育つ～北海道下川町」(5.22)，「もう一度大空へ～タンチョウ救急病院奮闘記」(2.23) や，『こんなステキなにっぽんが』「人生はぐくむ北の山林～北海道下川町」(6.8)，「“ばん馬”に思いをのせて～北海道十勝」(7.27)，「ラベンダー　香り豊かに～北海道富良野地方」(9.7)，「カキの浜の誇り～北海道厚岸町」(12.5)，「雪の鉄路を走り続けて～北海道旭川・北見」(1.23)，「職人坂　わがふるさと～北海道小樽市」(3.13)。ラジオ第1では『もぎたて！北海道』(毎月第1火曜，11月は11.18) などで各地の魅力を伝えた。

特集番組では，総合テレビの『ホリデーインタビュー』「人にほれた相撲人生～大相撲解説者北の富士勝昭」(5.5)，「富良野の森に教わった～脚本家・倉本聰」(9.15)，『にっぽん夏紀行～ふたりでゴールへ～北海道・サロマ湖100kmマラソン』(7.29)，『にっぽん紀行～山のシャンツェで大きくはばたけ～北海道美流渡ジャンプ少年団』(3.16) のほか，衛星第2『ウインタースペシャル　生中継　ワタシが好きなHOKKAIDO』(2.11)，衛星ハイビジョン『ハイビジョン特集～大雪山　雪が育(はぐく)む神秘の高原』(1.3) など，さまざまな形で“北海道の今”を全国に発信。『ウインタースペシャル　生中継　ワタシが好きなHOKKAIDO』は，NHKワールドTVで海外発信した。

ほかにも，『プライムH』『北海道中ひざくりげ』などの地域放送番組や，衛星放送の『こんなステキなにっぽんが』などの番組を，総合テレビの深夜枠で8本，全国放送した。

（3）迅速・正確な災害・緊急報道

9月の十勝沖の震度5弱の地震，12月，2月の大雪などの自然災害時には，NHK北海道は道内7局のネットワークを活用し，正確できめ細かな情報を迅速・的確に伝えた。

（4）地域スポーツ情報の発信

プロ野球・北海道日本ハムファイターズやサッカーJリーグ・コンサドーレ札幌の試合を中継した。ファイターズ戦はテレビ・ラジオで中継を行ったほか，コンサドーレ戦の地上デジタル放送では番組連動データ放送を引き続き実施した。また高校野球，アイスホッケーなどのアマチュアスポーツも中継し，8月の北京五輪に出場した北海道ゆかりの選手の活躍なども積極的に発信した。

（5）地上デジタル放送ならではのサービスの充実

07年度，道内全局で地上デジタル放送が始まった。08年度はその普及促進と定着のための番組を放送するとともに，デジタル放送の特性のひとつである5.1サラウンドによる高音質で臨場感の高い放送を『Jリーグ』(5.6，9.20，28)，『第61回秋季北海道高校野球大会』(10.6)，『アジアリーグ・アイスホッケー』(12.14)，『第61回北海道高校アイスホッケー選手権』(12.26)，『プライムH“生中継！YOSAKOIソーランナイト2008”』(6.6)，『北海道フレッシュサウンドライブ』(09.3.21収録，4.6放送) で実施した。

データ放送では，10月7日から『NHKニュース　おはよう日本』の放送時間帯に気象マークスーパーのサービス「ぐるぐる天気」を開始した。また，ファイターズとコンサドーレの試合結果や，郷土力士の成績などの情報も引き続き伝えた。

『プライムH“生中継！YOSAKOIソーランナイト2008”』（6.6）や，『Jリーグ』（5.6，9.20，28）の中継では，番組連動データ放送を実施した。そのほか，サミット関連のコンテンツを期間中に編成したり，ホームページと連動して多彩なコンテンツを発信。ワンセグのデータ放送でも地域の話題のほか，ファイターズの試合速報なども伝えた。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『NHKニュース　おはよう北海道』　G

月～金　7:45～ 8:00
土　7:30～ 8:13

第１回93.4.5／北海道ブロック／08年度は，月曜から金曜は午前7:45からの放送。北海道の朝の最新ニュースと道内ネットワークを生かした企画リポート，気象情報をコンパクトにまとめた地域密着のニュース情報番組。中継や全道60か所に設置した天気カメラで北海道の朝の表情を伝えた。

土曜は，43分間のワイド版。１週間の動きを伝える「ウィークリー北海道」や，地域の課題を掘り下げる「土曜リポート」，各局のリポーターが訪ね歩く「北海道ぶらりみてある記」，旬の人物の「土曜インタビュー」などを多彩に伝えた。

『ほっからんど北海道』　G

月～金　11:05～12:00

第１回04.9.27／北海道ブロック／暮らしに役立つ情報をわかりやすく伝える生活情報番組。ニュースや交通情報，気象情報を伝えたほか，料理・健康・趣味・川柳などの身近な話題や，道内７つの放送局からの地域の話題，アマチュアビデオなど，幅広く紹介した。地域の人々を紹介する「この街この笑顔」は，08年度からエリアを拡大して道内各地を訪ねた。「ＮＨＫほっと情報」ではＮＨＫ北海道制作の番組や地上デジタル放送，受信料などNHKに関する情報を伝えた。

『まるごとニュース北海道』　G

月～金　18:10～19:00

第１回08.3.31／北海道ブロック／道内７局のネットワークを生かした新しいニュース・情報番組。北海道が抱える課題を機動的かつ継続的に伝えたほか，日々の生活にかかわる身近なニュース，話題を多角的に取材し，その日の北海道を“まるごと”伝えた。道内各局を結んだリレーニュースや，中継，記者解説，企画ニュース，気象情報など，北海道７局が力を結集，連携して，骨太な課題の提示やニュースの掘り起こしを行い，北海道が“元気”になる方策を視聴者と共に探った。

『まるごとニュース845』　G

月～金　20:45～21:00

第１回08.3.31／北海道ブロック／その日１日の北海道のニュースを伝えるニュース番組。午後６時台の『まるごとニュース北海道』のハイライト，午後７時以降の新たなニュースや，きめ細かい気象情報をわかりやすく伝えた。

『まるごとニュース645』　G

土・日　18:45～19:00

第１回08.4.5／北海道ブロック／土曜，日曜の北海道のニュースを伝える新番組。その日１日の道内のニュースや，きめ細かい気象情報をわかりやすく伝えた。

『北海道クローズアップ』　G

金　19:30～19:55
㊫日　8:00～ 8:25

第１回93.4.1／北海道ブロック／“北海道の今を見つめる”がテーマの報道番組。北海道で起こるさまざまな出来事や，直面する課題をタイムリーに取り上げ，密度の濃い取材とわかりやすい構成で伝える情報番組。道内７局のネットワークを生かして，多岐にわたるテーマを迅速に伝えた。／主な内容：「サッポロバレーが熱い～IT業界最前線」「潜った！登った！カメラがとらえた北の大自然」「サンマを世界へ～逆風に立ち向かう水産業」「追跡　振り込め詐欺」「疲弊する地域経済」など

『北海道中ひざくりげ』　G

金（最終）19:30～19:58
㊫日（最終）8:00～ 8:28

第１回87.4.9／北海道ブロック／放送開始22年目を迎えた紀行番組。道内各地の市町村をくまなく旅し，自然豊かなふるさとを再発見するとともに，都市の新たな魅力も伝えた。地域の人々の笑顔に出会い，ふれあう番組としてよりいっそうの充実を図った。また，旅心誘う観光情報・地域情報を紹介する「ふらっとひざくりげ」も継続した。／主な番組：「花いっぱい　笑顔満開～由仁町」「豚と土とソバと～幕別町」「味の記憶受け継ぐ里～上ノ国町」など

『ウイークエンド道南』　G　金　15:55～16:00

第１回08.4.4／函館単／週末の地域の催し物や番組広報を中心に，スタジオインタビューやリポートで道南の話題や，生活情報を伝えた。

『交通事故防止キャンペーン』　R1

金～月　１日２～４回

第１回91.1.7／北海道ブロック／北海道は交通事故による死者が全国トップレベル。交通事故を

減らすために，事故原因の解説や防止のためのアドバイスなどを１分ミニ番組として放送した。

『環境キャンペーン』　R1　火～木　１日４回

第１回03.4.1／北海道ブロック／北海道の豊かな自然環境を次の世代に残すために，道内の多様な分野の人たちの環境へのメッセージを１分ミニ番組として放送した。

『おはようもぎたてラジオ便』　R1

月～土　7:40～ 8:00

第１回02.4.1／北海道ブロック／ニュースや気象情報・各種の交通情報をわかりやすく伝え，ボランティア・環境保護・地域振興など，曜日ごとにテーマを設けて，各地の人々の活動を伝えた。

『トウディ・リポート北海道』　R1

月～金　19:45～20:00

第１回95.4.3／北海道ブロック／“きょうの北海道”を記者解説なども交えてきめ細かく網羅し，気象情報を伝えた。

『どどんと道南ラジオ』　R1　金　14:00～15:00

第１回03.4.10／函館単／函館局ロビーからの公開生放送で，地域の活性化に取り組んでいる人たちの活動や，生活に役立つ情報を紹介した。地元音楽家の生演奏も楽しめる地域情報番組。

『あさひかわ発ふるさと便』　R1

金　14:05～14:35

第１回04.10.7／旭川単／道北各地の話題や週末のイベントを伝える情報番組。携帯電話による街角中継などでラジオの機動性を発揮し，ロシア・サハリン州の州都ユジノサハリンスクからの国際電話による「サハリン便り」も続けた。

『フレッシュサウンド北海道』　FM

月～金　18:00～18:50

第１回99.4.5／北海道ブロック／若年層を中心に安定したリスナーを獲得している音楽情報番組。身近な話題や，さまざまなジャンルの音楽のリクエスト曲とともに，道内を訪れたアーティストへのインタビューや新曲紹介をタイムリーに行い，特集や公開収録も実施した。

（２）特集番組

〔北海道ブロック〕

『プライムH』　G　金　20:00～20:43
（19:30～20:43）
㊫土・日午後　随時

第１回08.4.4／北海道ブロック／多彩なテーマで北海道を伝える大型地域番組。金曜夜間の視聴好適時間帯を北海道の視聴者のための時間と位置づけて，ドキュメンタリーやバラエティー，討論番組など“NHK北海道だからできる”多彩な番組群を放送した。ふるさとのよさを再認識し，家族で楽しめて地域を応援する視聴者参加の公開派遣番組『とことん！ふるさとステージ』を新設。

『データマップ北海道』は，さまざまなデータを切り口に，北海道の現実に迫る番組として継続。『北海道ひと物語』では，北海道でたくましく生きる人々を描き，『ホンネで北海道』は，北海道の課題を視聴者とともに考える討論番組として継続した。その他，「YOSAKOIソーランナイト」やプロ野球など，地域に結びついた文化を取り上げた番組やスポーツ中継を実施した。

「この町から世界をめざせ～下川ジャンプ少年団の日々」　旭川局　4.11／20:00～20:43
「歌志内　住民が動いた１年～地域活性化への記録」　札幌局　5.16／20:00～20:43
「四季　洞爺湖～命をつなぐ破壊と再生」　札幌局　5.30／20:00～20:43
「生中継！YOSAKOIソーランナイト2008」　札幌局　6. 6／19:30～20:43
「世界の首脳がやってくる～サミットの舞台裏すべて見せます」札幌局 7. 4／19:30～20:43
「倉本聰　いま，森に託す」　札幌局　8.29／20:00～20:43
「歌えや　踊れや　世界の音楽～はこだて国際民俗芸術祭」　函館局　10.10／20:00～20:43
「伝えたいのは，いのちと自然～小菅園長最後の挑戦」　旭川局　10.24／20:00～20:43
「大雪山　天空の花園」　札幌局　11.21／20:00～20:43
「よみがえる縄文のこころ～国宝　中空土偶のすべて」　函館局　1.16／20:00～20:43
「再発見　北海道の自然」　札幌局　1.23／20:00～20:43
「四季　積丹の海」　札幌局　3.13／20:00～20:43

『とことん！ふるさとステージ』　G　札幌局

「余市町」　4. 4／20:00～20:43
「士別市」　5. 2／20:00～20:43
「網走市」　7.25／20:00～20:43
「更別村」　9. 5／20:00～20:43
「浜中町」　10. 3／20:00～20:43
「江差町」　10.31／20:00～20:43
「美深町」　12. 5／20:00～20:43
「三笠市」　1. 9／20:00～20:43
「浦河町」　2. 6／20:00～20:43
「札幌市」　3. 6／20:00～20:43

『データマップ北海道』　G
「めざせ交通死亡事故“ゼロ”」
札幌局　11. 7／20:00〜20:43
「どう防ぐ　救急医療崩壊」
札幌局　1.30／20:00〜20:43
『ホンネで北海道』　G
「原油高騰・物価上昇　どうする北海道経済」
札幌局　9.19／19:30〜20:45
「あなたが人を裁く〜“裁判員制度”まで３か月」　札幌局　2.20／19:30〜20:45
『北海道ひと物語』　G
「北の大地に挑む〜脚本家　倉本聰／陶芸家　工藤和彦」
旭川局・札幌局　5. 9／20:00〜20:43
「地道に，そして一歩ずつ〜養豚農家　上泉新／町立厚岸病院院長　佐々木暢彦」
函館局・釧路局　7.18／20:00〜20:43
「いま，受け継ぎたいものがある〜酪農家　山田照夫／理容師　山崎大介」
北見局・釧路局　11.14／20:00〜20:43
「ふるさとの未来を託す〜糠平温泉・旅館経営　蟹谷　吉弘／三笠市・ワイン農家　山﨑和幸」　帯広局・札幌局　12.12／20:00〜20:43
「向き合うこと　それが，すべて〜七飯町・装てい師　小松美智也／別海町・介護事業所代表　赤石えみ子」
函館局・釧路局　2.27／20:00〜20:43

○その他の特集番組

『北海道釣り紀行』　G　札幌局
「サケ・オホーツク」　9.21／ 8:00〜 8:25
「積丹沖のヒラメ」　10.19／ 8:00〜 8:25
「道南・恵山沖でマダラ釣り」
11.30／ 8:00〜 8:25
「網走湖のワカサギ釣り」　2.22／ 8:00〜 8:25
『北海道環境アーカイブス』　G　札幌局
「北海道クローズアップ“北の大地からの警告〜地球温暖化にどう向き合うか”」
5.10／10:05〜11:25
「北海道スペシャル“大雪山〜雪と高原の恵み”」　5.10／10:05〜11:25
「北海道スペシャル“知床〜悠久の大自然”」
「北海道クローズアップ“海流がつくった知床〜最新オホーツク海研究”」
5.17／10:05〜11:25
「北海道スペシャル“サロベツ原野〜いのち育む北の大地”」　5.31／10:05〜11:25
「北海道スペシャル“美しき北の大地を未来へ〜環境新時代北海道”」
「北海道クローズアップ“夢の燃料　バイオエタノール〜十勝量産計画”」
6.21／10:05〜11:25
「NHKスペシャル“ユリばあちゃんの岬”」
「さわやか自然百景“函館山”」
6.22／10:05〜11:25
「プライムH“四季　洞爺湖〜命をつなぐ破壊と再生”」
「ダーウィンが来た！生きもの新伝説“鳥が凍った？　ヤマセミ　厳冬のダイビング”」
6.28／10:05〜11:25
「プロフェッショナル　仕事の流儀〜野生の命をあきらめない〜獣医師・齊藤慶輔」
10. 4／10:05〜11:30
「プライムH“倉本聰　いま，森に託す”」
「こんなステキなにっぽんが“ラベンダー　香り豊かに〜北海道富良野地方”」
「北の生きもの百科“木々の繁殖戦略”」
「ほっかいどう川の風景“空知川”」
11. 1／10:05〜11:25
『サミット関連特別番組　北の大地からのメッセージ〜温暖化防止のために何ができるか』　G
6.20／19:30〜20:45
『復活！FMリクエストアワー』　FM
札幌局　6.21／14:00〜18:50
『北海道ラジオ特集〜どうなる北海道洞爺湖サミット』　R1　札幌局　7. 5／13:05〜14:00
14:05〜14:55
『特集この街この笑顔』　G
札幌局　9.28／10:53〜11:33
札幌局　3.14／10:05〜11:00
『札響FMコンサート』　FM
札幌局　10.26／ 8:00〜11:00
札幌局　2.14／ 9:00〜10:57
『PMFオーケストラコンサート2008』　G
札幌局　11. 9／13:05〜14:47
『アイデア対決・全国高等専門学校　ロボットコンテスト2008〜北海道地区大会』　G
札幌局　11.16／13:05〜13:59
『札響名曲コンサート』　G
札幌局　12.23／15:15〜16:44
『北の文芸館〜朗読と民族楽器とのライブセッション』　R1
「第１部“北の文学”」
札幌局　12. 6／21:05〜21:55
「第２部“ろうどく・コンチェルト”」
札幌局　12.13／21:05〜21:55

『北の文芸館～歌集“一握の砂”より』　G
札幌局　1. 3／15:20～16:03
『ウインタースペシャル～ワタシが好きなHOKKAIDO　総集編』　G
札幌局　2.21／10:05～11:53
〔各局単〕
『公立高校入試出願状況』　E
札幌局　1.27／11:00～11:10
『道南アーカイブス』　G
「映像で振り返る道南～総集編」
函館局　4.25／16:05～16:48
『桜満開！どどんと道南ラジオ』　R1
函館局　5.10／13:00～15:00
『地デジも開始だ！どどんと道南ラジオ　檜山キャラバン』　R1　函館局
「江差町」　10.27／14:00～15:00
「厚沢部町」　10.29／14:00～15:00
「八雲町」　10.30／14:00～15:00
「乙部町」　10.31／14:00～15:00
「上ノ国町」　11. 4／14:00～15:00
『道南LiveHour』　G
「はこだて国際民俗芸術祭」
函館局　11. 9／10:05～11:25
『どどんと道南ラジオ　とことん！函館コンサート』　R1　函館局　12.14／13:00～15:00
『どどんと道南ラジオ　とことん！函館コンサートpart2』　FM
函館局　12.19／18:00～18:50
『特集きらり道南　平成20年度総集編』　G
函館局　3.17／11:05～11:54
『香りと音楽の夕べ～釧路　海霧の夜に』　FM
釧路局　8.22／18:00～18:50
『“歌がみえる　心つながる”NHKくしろ　ハートフルコンサート』　FM
釧路局　12.25／18:00～18:50
『NHK－FMライブスペシャルinくしろ　氷まつり』　FM　釧路局　2.27／13:00～14:00
『NHKのど自慢予選会in滝上』　G
北見局　6.10／15:15～16:50
〔各局共通〕
『NHK全国学校音楽コンクール』
「小樽・後志地区大会」　FM
札幌局　8.11／10:00～11:00
「札幌地区大会　小学校の部」　FM
札幌局　8.12／ 9:15～10:00
「札幌地区大会　高等学校の部」　FM
札幌局　8.13／ 9:20～11:00
「札幌地区大会　中学校Aの部」　FM
札幌局　8.14／ 9:20～10:55
「札幌地区大会　中学校Bの部」　FM
札幌局　8.15／ 9:20～10:55
「空知地区大会」　FM
札幌局　8.30／ 9:00～10:00
「北海道ブロックコンクール」　E
※北海道ブロック
札幌局　9.28／14:00～16:55
「道南地区大会」　FM
函館局　8.23／14:00～15:43
「道北地区大会」　FM
旭川局　8.23／14:00～16:27
『特集・ほっからんどあさひかわ　音楽コンクール道北地区大会特集』　G
旭川局　8.28／11:05～11:54
旭川局　9. 3／11:05～11:54
「十勝地区大会」
FM　帯広局　8.11／10:00～11:00
G　帯広局　8.25～29／11:50～11:54
「釧根地区大会」
FM　釧路局　9. 6／14:00～15:31
「北見地区大会」
FM　北見局　8.23／14:00～16:00
G　北見局　8.25／15:45～16:50
「室蘭地区大会」
FM　室蘭局　8.23／14:00～15:45
G　室蘭局　8.25～26／11:05～11:54
〔放送体験クラブ〕
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』　E
札幌局　11.17～21，11.24～28，12. 1～ 5
12. 8～12，12.15／18:55～19:00
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』　G
函館局　2.25／15:15～15:45
『特集・ほっからんどあさひかわ　平成20年度　キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』　G
旭川局　1.22～23／11:05～11:54
『ほっからんど十勝　放送体験クラブ　キッズニュース』　G
帯広局　10.27・29～31，11. 4～ 7，11
／11:50～11:54
『NHK放送体験クラブ　釧路・根室地区』　G
釧路局　2.23～25，27，3. 2～ 3，11
／ 9:54～10:00
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』　G
北見局　1.21～23，26～27／13:55～14:00
『キミが主役だ！NHK放送体験クラブ』　G
室蘭局　12.16～17／11:05～11:41
3.13／ 9:55～10:00

３．スポーツ中継

〔高校野球〕

第47回春季北海道高校野球大会　決勝
※北海道ブロック
（札幌市）　R1／ 6. 3

第90回全国高校野球選手権大会　南北海道大会
地区代表決定戦
札幌地区代表決定戦
（札幌市）　R1／ 6.29・30
※29日は小樽，空知地区と多元中継
小樽地区代表決定戦
（小樽市）　R1／ 6.29
※札幌，空知地区と多元中継
函館地区代表決定戦
（函館市）　R1／ 6.28
室蘭地区代表決定戦
（室蘭市）　R1・FM／ 6.28

第90回全国高校野球選手権大会　北北海道大会
地区代表決定戦
空知地区代表決定戦
（滝川市）　R1／ 6.29
※札幌，小樽地区と多元中継
名寄地区代表決定戦
（稚内市）　R1／ 6.28
旭川地区代表決定戦
（旭川市）　R1・FM／ 6.29
十勝地区代表決定戦
（帯広市）　R1／ 6.28
釧根地区代表決定戦
（釧路市）　R1・FM／ 6.29
北見地区代表決定戦
（北見市）　R1・FM／ 6.29

第90回全国高校野球選手権大会　南北海道大会
１回戦～決勝（札幌市）　R1・FM／ 7.13～19
準決勝・決勝（札幌市）　G・E／ 7.18～19

第90回全国高校野球選手権大会　北北海道大会
１回戦～決勝（旭川市）　R1・FM／ 7.17～24
準決勝・決勝（旭川市）　G・E／ 7.23～24
※18日のR1は，南・北ブロックに分けて放送

第61回秋季北海道高校野球大会　代表決定戦
函館地区代表決定戦（函館市）　R1／ 9.14
十勝地区代表決定戦（帯広市）R1・FM／ 9.15
釧根地区代表決定戦（釧路市）　FM／ 9.15

第61回秋季北海道高校野球大会
準決勝・決勝（札幌市）　R1・FM／10. 5～ 6
決勝　（札幌市）　E／10. 6

〔プロ野球　北海道日本ハムファイターズの試合〕
※北海道ブロック

対オリックス	（札幌市）	R1／ 4.24
対ソフトバンク	（福岡市）	R1／ 5.16
対中日	（札幌市）	G／ 5.23
対中日	（札幌市）	R1／ 5.23
対ソフトバンク	（札幌市）	G／ 7.11
対ソフトバンク	（札幌市）	R1／ 7.11
対ソフトバンク	（札幌市）	G／ 7.12
対楽天	（札幌市）	G／ 9. 7
対西武	（札幌市）	G／ 9.26

〔Jリーグ　コンサドーレ札幌の試合〕
※北海道ブロック

対浦和レッズ	（さいたま市）	R1／ 4.29
対東京ヴェルディ	（札幌市）	G／ 5. 6
対ジェフ千葉	（札幌市）	G／ 9.20
対FC東京	（札幌市）	G／ 9.28

〔その他のスポーツ〕
＊特記した以外は北海道ブロック

第26回知事杯全道サッカー選手権大会～天皇杯北海道代表決定戦　（札幌市）G／ 8.31

アジアリーグ・アイスホッケー
「日本製紙クレインズ」対「王子イーグルス」
（釧路市）G／12.14

第61回北海道高校アイスホッケー選手権　決勝
「駒大苫小牧」対「武修館」
（札幌市）G／12.26

全道フットサル選手権2009
（札幌市）G／ 3. 8

第48回全十勝小中学校選抜スピードスケート選手権大会　（足寄町）帯広単　G／ 2.22

第40回NHK杯アイスホッケー大会～小学校・中学校・高校の部・決勝
（釧路市）釧路単　G・AE／11.30

アジアリーグ・アイスホッケー
「日本製紙クレインズ」対「王子イーグルス」
（釧路市）釧路・室蘭ブロック　G／12.13

第23回NHK杯争奪　中学・高校アイスホッケー大会～中学の部・高校の部・優勝決定戦
（苫小牧市）室蘭単　G／10.12

Ⅱ．技　術

１．地上デジタル放送の拡充

北海道では着実に地上デジタル放送網の拡充を進めており，08年度は大規模中継局26局と小規模局16局，計42局所のデジタル中継局を開局し世帯

カバー率を95%に拡大した。

NHK共聴施設（道内396施設）への導入工事は61施設で，累計108施設が地上デジタルに対応した。また，山間部などの自主共聴施設に対するNHKの技術支援として，共聴受信点での地上デジタル電波の受信可否調査を80施設で実施した。

２．「北海道洞爺湖サミット」中継

７月７日から３日間開催された「北海道洞爺湖サミット」では早期に体制を立ち上げ，事前に各中継現場からのFPU伝送ルートを構築するなど周到な準備で本番に備えた。サミット期間中は，技術要員総数87人中30人の北海道メンバーがサミット主会場やIBCなど計９か所の代表とユニの中継対応を行った。特に，各国要人を迎える新千歳空港は，北海道メンバーだけで中継を行うなど，NHK北海道技術の総力で臨んだ。

３．ハイビジョン制作の推進と地域放送の充実

地上デジタル放送が拡充する中，ハイビジョン・5.1サラウンド制作を積極的に推進し，デジタル放送時代にふさわしいコンテンツ制作に努めた。地域放送では『まるごとニュース北海道』『プライムH』などの充実を図るとともに，『ほっからんど北海道』では技術が提案して「とれたて市場だより」生中継を開始した。全国放送では，札幌・旭川局の長期取材『ハイビジョン特集・大雪山』で，特殊機材を駆使して大雪山の新たな表情に迫った。『NHK紅白歌合戦』（札幌ドーム）『ゆく年くる年』（沼田町）中継を，5.1サラウンドで放送するなど，培ってきた技術力を発揮した。

４．緊急報道・災害報道への対応

緊急報道設備では，札幌局ニュースカー７号と旭川局CSK車をハイビジョン化更新するとともに，報道室など６か所にハイビジョン設備を整備した。また，道内局へのハイビジョン緊急パックの整備，函館木地挽山のヘリ自動追尾FPU基地局をハイビジョン化するなど，伝送体制を強化した。

08年９月11日午前に北海道東部で発生した震度５弱の地震では，道内の地震では初めて「緊急地震速報」を送出。防災情報の迅速な伝達に当たった。

５．放送設備の整備

札幌局では，第１スタジオをハイビジョン化更新し，多様な演出に対応できるよう整備した。また，老朽化していたMAスタジオも5.1サラウンド対応に更新し，第１スタジオと合わせて，北海道の発信拠点として，制作機能の強化を図った。

また，手稲山と放送会館の間に建った高層ビルが引き下ろし回線を遮蔽（しゃへい）するため，受信アンテナの高所移転を行うとともに，引き下ろし回線の２号系をハイビジョン化更新した。

送出設備では，老朽化した道内局のラジオ調整卓を更新したほか，本部～拠点局～放送局～放送所までのラジオ・FM回線を光化更新し，いずれも放送の安定的運用に効果を上げている。

６．放送設備の整備

関連業界を対象に地上デジタル放送の受信技術指導や，集合住宅の設備改修を働きかける説明会などを実施したほか，放送を通じたデジタル放送受信方法の紹介や老人クラブなど一般視聴者向けのデジタル説明会を実施。衛星契約取り次ぎの拡大に向けて業界等と連携したキャンペーンを展開した。

Ⅲ．視聴者

１．イベント事業

地域視聴者との結びつきを強化するため，「NHK北海道放送開始80周年」を記念して公開番組をはじめ多くのイベントを実施したほか，「北海道洞爺湖サミット」と連動した環境イベントや60回の節目を迎えた「さっぽろ雪まつり」関連イベントなど，放送と連動する活動を積極的に展開した。

（１）「公共放送ならでは」の活動強化

公開番組については，地域の要望に応え『NHKのど自慢』や『BS日本のうた』などの全国放送番組を道内33会場で実施したほか，豪華ゲストを迎え北海道各地の“町の元気”を紹介するバラエティー番組『とことん！ふるさとステージ』を開発。年間10本を公開収録し，全道に放送した。イベント会場でのアンケートを運営改善につなげるなど，「お客さま満足度」の向上を目指した。

NHKが全国展開しているキャンペーンについては，環境・福祉・食料などをテーマに，北海道でも積極的に取り組んだ。

環境イベントは，小学生がゲームなどを通じて学習する「NHKさっぽろエコスタジアム」（６月・札幌市）や人気番組のメールマガジンと連携し多くの若者が参加した「ケータイ！フォト川

柳」（６月・札幌市）などを道内８会場で実施。サミットに先駆けて環境問題について考える契機とした。

福祉イベントは，手話を駆使して耳の不自由な方に音楽を楽しんでいただく「NHKくしろハートフルコンサート」（12月・釧路市）を行い，「ハート・スポーツ・フェスタ」（12月・札幌市）では車いすカーリングを取り上げた。

食料イベントは，サケがテーマの食育イベント「ふるさとの食　にっぽんの食　後志フェスティバル」（10月・古平町）のほか，道内６会場で地域フェスティバルを開催し，北海道の“食”の豊かさをアピールした。

教育イベントでは，道内全局で実施した「NHK放送体験クラブ」に69校（118クラス）3,452人の小学生が参加し，「NHK全国学校音楽コンクール」には，道内９地区大会と北海道ブロックコンクールを合わせて166団体（175校）7,397人の小中高生が出場した。また，「第60回北海道放送教育研究大会　道北・旭川大会」（10月・旭川市）を開催するなど学校放送番組の利用促進活動を推進した。

スポーツイベントは，「第29回NHK杯全十勝ママさんバレーボール大会」（５月・音更町），「第６回NHK杯全道パークゴルフ選手権大会」（７月・置戸町），「第22回NHK杯室蘭地区小学生バレーボール大会」（８月・室蘭市），「第28回NHK杯争奪胆振４地区中学校バドミントン大会」（11月・登別市），「第７回NHK杯道南地区タグラグビー大会」（11月・函館市），「第29回NHK杯カーリング選手権大会」（12月・北見市），「第50回NHK杯ジャンプ競技大会」「第20回全道フットサル選手権大会」（いずれも２月・札幌市）などを全道で展開。地域スポーツの振興に努めた。

（２）地域との結びつきを強めるイベントの展開

「NHK北海道放送開始80周年」を記念し実施したイベントは公開番組など28本に達し，２万4,000人を超える参加者を集めることができた。うち，「NHK交響楽団演奏会」（９月・札幌市・函館市・旭川市・帯広市・釧路市）において多くの音楽愛好者を集めるなど，文化イベント開催を通じ地域視聴者の知的関心に応えた。また，「みんなあつまれ！NHKキッズカーニバル」（２月・札幌市）などの「さっぽろ雪まつり」関連イベントを通じて地域貢献に努め，“地域を元気にするための拠点”としての役割を果たした。

公開番組を核として展開する「NHKターゲット76」（４～７月・札幌市，６～７月・標津町，８月・苫小牧市，10月・斜里町，10～12月・広尾町・乙部町ほか）では，７つの営業拠点での22イベントに２万1,000人余りが参加。

また，「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（12月・帯広市）などの公開録画をはじめ，「BSおかあさんといっしょ」スタジオ収録（５月・中札内村，２月・札幌市）や受信料支払者対象の「ぐ～チョコランタン小劇場」（４月・札幌市・富良野市，７月・標津町，９月・北斗市・室蘭市，10月・札幌市，２月・鷹栖町・北見市）などのファミリー向けイベントを実施し，地域視聴者との結びつきを深めた。

（３）完全デジタル化に向けたイベントの展開

北海道総合通信局や在・札幌民放各社とともに「北海道地上デジタルテレビ放送キャンペーン」（７月・札幌市）を開催したほか，地デジ開局に際し「地デジも開始だ！どどんと道南ラジオ　檜山キャラバン」（10月・江差町ほか）や「地上デジタル放送キャンペーンin名寄」（11月・名寄市），「NHKふれあいタマゴin稚内」（１月・稚内市）などの記念イベントを道内各地で実施し，デジタル放送の普及促進を図った。

２．営　業

受信料の公平負担を徹底し支払率を向上させていくことと，より効率的な活動を展開して営業経費を削減することを最重要課題として，効率的な営業活動に取り組み，業績確保に努めた。

特に下半期から実施された「訪問集金の廃止」「事業所割引の導入」「家族割引の拡大」など，一連の営業改革にあたっては，視聴者へのきめ細かな対応を行って理解を求め，円滑な導入と早期定着に努めた。また，民事手続きよる支払督促は，07年度の札幌局に加えて，08年度は旭川局にも地域を拡大し，受信料公平負担の推進に努めた。

一方，大量の個人情報を預かる部門としてリスク管理の徹底を図るとともに，職員等のコンプライアンス意識を高め，内部統制の推進を図った。

３．広　報

（１）「公共放送」「受信料制度」の理解促進

札幌局では，地域情報番組『ほっからんど北海道』に広報枠「NHKほっと情報」を設け，平日の毎日，番組・イベント情報や，デジタル放送の魅力や受信料制度などについての理解促進を行った。

函館局では４～５月にかけて「がんばれ。ルーキー！」キャンペーンを展開。新社会人を対象に，

独自スポットを制作・放送し，企業・団体との関係構築を図ったほか,独自パンフレットを作成し，大学・短大入学者に，家族割引のPR活動を行った。

北見市「菊まつり」は例年大河ドラマをテーマにした菊人形が目玉。08年度は『篤姫』人気で大いににぎわった。北見局では，会場にコーナーを設け，受信料PRパンフなどを配布した。

（２）「BS・地上デジタル放送」の普及促進

帯広局では７月，帯広市社会福祉協議会の依頼を受けて「デジタル井戸端会議」を，３月には「NHK本別デジタル中継局開局記念～歓び実感フォーラム」を開催するなど，年間を通して広くデジタル放送の普及に努めた。

旭川局では稚内地デジ開局にあわせ，１月「地デジパネル展」「受信相談」「中継車公開」「稚内市出身棋士中井広恵さんとの対局」などを稚内副港市場で開催。最北端での地デジ推進を行った。

函館局では，地デジ開局となる檜山地区の５町を対象に，自治体との連携のもと，広報誌や新聞折込みの実施，単域ラジオ番組『どどんと道南ラジオ』のキャラバン公開放送，パブリックスペースでの地デジ受信公開や説明会など，多角的な普及活動を展開した。

札幌局では３月，中継車に「いいね。デジタル」「みんな　デジタル」をキャッチコピーに，地球と空のイラストで北海道の広さを表現したラッピングを施した。中継先で記念撮影のバックになったり，道行く人に手を振られて，親しまれている。

（３）番組広報

釧路局では，12月から地元紙「釧路新聞」に釧路・根室地方を取り上げた番組の放送予告などを提供,「発信！NHK釧路」と題して平日の毎日掲載し，独自の番組広報を行っている。

室蘭局では，月刊広報紙を「まるごと！イキイキ！こちら室蘭放送局」と改称し，より親しみやすい紙面に刷新した。自局制作番組の周知チラシも多数発行。HPやデータ放送による発信も行った。

帯広局では，正面玄関側面の番組広報看板を４年ぶりに一新。横９ｍ縦５ｍの全面を使って全道放送番組『まるごとニュース北海道』『プライムH』のロゴやNHKキャラクターをアピールしている。

北見局では，７月に「管内市町村企画広報担当者会議」を開催。各地域からの情報提供を依頼するとともに，08年から始まった昼前の情報番組『ほっからんどオホーツク』など北見局の取り組みについての周知を行なった。

（４）視聴者・地域社会との結びつき

旭川局は08年度，開局75周年を迎え，地域に関わりのある著名人12人が“ふるさと”への思いや郷土の魅力を語る「１分スポット」を74回放送し，視聴者から「郷土への熱い思いを聞いて，元気が出ました」など多くの反響があった。

札幌局では視聴者に親しまれるようホームページと携帯サイトで「キャスターリレーブログ」を開設。北海道の魅力投稿ブログ「みんなの写真ブログ・SNAP！北海道」なども開設し，放送と通信を融合して地域との結びつきを深めている。

函館局では，局の「応援団」的市民団体「VK懇話会」とともに市民の集いを開催。永井理事や藤原解説委員も出席して，経営計画や番組についての意見交流を行った。

室蘭局では，子ども対象のイベント「室蘭放送局夏休みフェア」を７月に実施したほか，プラザミューで毎年恒例の「クリスマスチャリティー」を開催。日高地方の小学生に，放送の仕事に触れてもらう「出前授業」を実施した。

（５）視聴者の意向吸収

釧路局では，企画型ふれあいミーティングとして51年前放送の釧路のSLを描いた『さいはて列車』と07年放送の釧路局制作『SLが走る日』の２番組を上映し，撮影担当カメラマンとSL機関士によるトークショーとふれあいミーティングを行い，幅広い年代の視聴者から意向を吸収した。

札幌局では情報番組『ほっからんど北海道』の人気コーナー「この街この笑顔」で活躍された「街の案内人」の方々と，交流会形式のふれあいミーティングを開催した。会場では各地の参加者から“わが街自慢”やNHKへの要望が寄せられた。

室蘭局では，ふれあいミーティングを77回実施し，およそ1,400人の視聴者が参加した。各地の観光協会や体育協会などの会合に出向くなどしてNHKについて理解促進の機会を多くもった。

東　　北

◇地域放送ゾーンとして位置づけている金曜夜間では県域向け番組，東北ブロック向け番組，全国のネットワークを生かした番組など，多彩な番組を編成し地域放送サービスを充実させた。
◇地震，津波，大雪，火山活動などの自然災害に備え，年間を通じて防災関連の企画や番組を放送して防災・減災意識の向上を図り，「岩手・宮城内陸地震」や「岩手沿岸北部地震」では，全国，地域に向けて迅速できめ細かい情報を発信した。
◇大河ドラマ『天地人』の放送にあわせて『クイズとことん直江兼続』やラジオ朗読シリーズ『天地人』を新潟，山形，福島局で制作し放送したほか，イベントを通じて関心を高めた。
◇東北域内で新たに50局のデジタル中継局を建設。ネットワークの整備を図り，地上デジタル放送の世帯カバー率は，07年の87%から92%に拡充された。
◇仙台局開局80周年を機に，地域ドラマ『お米のなみだ』を制作。特別展「平泉～みちのくの浄土」の開催など東北の魅力を全国に伝えた。
◇盛岡局開局70周年を機に，これまでの歩みを振り返る番組を編成。特別番組やイベントを展開して視聴者サービスの充実に取り組んだ。

Ⅰ．放　送

1．放送の概要

東北の各放送局は，公共放送として視聴者の信頼に応え，地域社会に貢献する放送サービスに全力で取り組んだ。金曜夜間を中心とする各時間帯では，地域の課題や魅力，関心の高い話題を積極的に取り上げ，多彩な番組を編成した。

“地域放送ゾーン”である金曜夜間をいっそう充実・強化し，『クローズアップ東北』『ワンダフル東北』やプロ野球・楽天戦の中継など，地域の課題に向き合う番組や東北の魅力を見つめる番組を多彩に放送するとともに，各局の実情に応じた，地域のニーズに応える放送サービスに努めた。

平日夕方6時台では，地域の“今”を伝えるニュース・情報番組として内容の充実を図った。『てれまさむね』（仙台局），『ニュースこまち』（秋田局），『やまがたニュースアイ』（山形局），『おばんですいわて』（盛岡局），『はまなかあいづToday』（福島局），『あっぷるワイド』（青森局）では，各県向けに地域が直面している課題や事件・事故の背景をわかりやすく伝えるほか，防災や環境などのテーマを取り上げた。

平日午前11時台は前半で『情報テラス東北』を東北ブロック向けに，後半では『情報テラスみやぎ』（仙台局），『ひるまえこまち』（秋田局），『YYほっとチャンネル』（山形局），『ひるっコいわて』（盛岡局），『くらしのチャンネル』（福島局），『情報ランチ』（青森局）で各県向けの生活情報を伝えた。イベント情報や文化，健康などさまざまな役立つ情報を地域の人々と共に紹介し，地域に根ざした番組として内容の充実に努めた。

6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」の災害報道では，被災直後から分厚い体制で取材に臨み，迅速かつ的確に全国・地域に向けてニュースを放送。復興への取り組みも詳しく伝えた。

プロ野球やJリーグ，高校野球など，地域で関心の高いスポーツを積極的に紹介したほか，オリンピック北京大会や北京2008パラリンピック大会では，東北出身選手の情報をきめ細かく伝え，地域スポーツを応援した。

『スポーツ大陸～“ガラスのエース”とは呼ばせない～楽天・岩隈久志』（BS1，10.14ほか）（仙台局），『映像詩　津軽　雪の里』（G，3.23）（青森局）などの全国放送を制作し，発信した。

〔仙台局〕

夕方6時台のニュース番組『てれまさむね』では，県内の1日のニュースや話題をいち早く，わかりやすく伝えるとともに，暮らしに役立つ身近な情報を伝えた。地域医療や地域経済など視聴者の関心が高いテーマを深く掘り下げたほか，「岩手・宮城内陸地震」関連の報道に加えて，「週間地震情報」などきめ細かな防災情報も提供した。

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」やJ2リーグ「ベガルタ仙台」，bjリーグ「仙台89ERS」なども積極的に取り上げた。

9月には，『NHK仙台放送局　開局80周年記念ドラマ「お米のなみだ」』を東北地方向けに放送。その後，全国向けに放送し，宮城県の中山間地の米作りの取り組みについて大きな反響を得た。

3月には，東北が拠点のアマチュアミュージシャンが出演し，ネットによる事前投票や審査員と観客の投票でグランプリを選ぶ『伊達者音楽闘技場 Round 3』を放送。若い世代などに注目された。

〔秋田局〕

夕方のニュース情報番組『ニュースこまち』は，地域の抱える課題に向き合い，ニュースの背景を

かみ砕いて解説した。昼前の情報番組『ひるまえこまち』は，新放送会館への移転に伴い公開生放送に刷新。トークで視聴者と触れ合う番組とした。

第１金曜の特集番組『あきた・よる金』では、地域の課題を掘り下げる討論からエンターテインメントまで，地域密着型の番組として制作。特に「過疎バス」や「分校の１年」は反響を得た。

「藤里町連続児童殺害事件」の控訴審や全国学力テストの結果公表など全国的な注目を浴びた事件では，迅速かつ的確な報道に努めた。

６月の「全国植樹祭」，恒例の「大曲花火」など大型中継番組を全国に発信した。

〔山形局〕

夕方６時台の『やまがたニュースアイ』は，県内のニュースや出来事，話題などをいち早く，わかりやすく，中継なども交えて発信。09年１月の山形県知事選挙では,迅速な選挙報道を実施した。

金曜夜間は，地域が抱える課題や問題に向き合う番組。地域の魅力や地元で頑張っている人たちを『クローズアップやまがた』や『やまがたスペシャル』などで放送した。山形弁で随時放送している『今夜はなまらナイト』では，山形の魅力や文化を方言で取り上げ，番組ホームページを充実させて視聴者とのつながりを深めた。地域番組の全国発信を行って山形の話題や魅力を伝えた。

J1に昇格したサッカー「モンテディオ山形」の中継をテレビとラジオで行い，昇格決定後には特別番組を編成し，県民の関心に応えた。

〔盛岡局〕

放送開始70周年を迎え，数々の記念番組を編成した。岩手県関連番組を「人物」という視点から特集した『いわてアーカイブス』のほか，９月から12月にわたって記念番組を放送。特に戦後樺太から裸一貫で引き上げてきた開拓者集落の歴史に迫る骨太のドキュメンタリーに反響が集まった。

『ラジオ・タイムトラベル』や『盛岡から生放送！凍てつく夜もさだまさし』など公開番組も多く放送。夕方６時台の『おばんですいわて』では県内35市町村を中継で回る「ぐるっとライブ35」を実施して視聴者とのふれあいを深めた。県内のアーティストによる岩手応援歌『いわてみんなのうた』の放送を開始し，幅広く支持された。

６月の「岩手・宮城内陸地震」，７月の岩手県沿岸北部を震源とする地震では正確な情報を迅速に伝えた。また， 世界遺産登録延期となった平泉の文化遺産，地域医療センター５施設の無床化などの地域のニュースを詳しく伝えた。

〔福島局〕

夕方６時台の『はまなかあいづToday』は地域に役立つ情報をわかりやすく正確に伝えた。地域に根ざした番組として，９月に「あなたの町からはまなかあいづキャラバン」を実施した。

金曜午後８時台には「福島を元気にする応援団」をコンセプトに視聴者参加型番組『主役は福島！みんなのテレビ』をスタートさせた。

金曜夜間の『クローズアップふくしま』や『ワンダフル福島』では，いわき漁船転覆事故や医療・福祉の問題，福島県で活躍している人を紹介するなど，多様な話題をタイムリーに放送した。「北京オリンピック・パラリンピック」出場選手を応援する番組やイベントの実施，なでしこリーグ１部に復帰した女子サッカー「マリーゼ」中継を３試合行うなど，地域のスポーツも応援した。

視聴者の期待の高いラジオ公開番組『ふくしま歌謡ライブ』を08年度も実施。また，大河ドラマ『天地人』の視聴促進のため『クイズとことん直江兼続』やラジオ朗読シリーズ『天地人』を山形局や新潟局と共同で制作し放送した。

〔青森局〕

夕方のニュース情報番組『あっぷるワイド』では，ひょう害リンゴや原子力などのエネルギー問題，東北新幹線の全線開通に向けた動きなど，県内の課題をわかりやすく伝えた。

６月に起きた「秋葉原通り魔事件」では，取材班を作り，青森県出身の容疑者の真相に迫る『NHKスペシャル』を制作した。

金曜夜間では，『お国ことばで川柳』を定時化して充実を図った。また，深刻化する地域医療や雇用の現状を伝える番組や青森の豊かな自然をとらえた紀行番組などを制作した。

８月には，ハイビジョンで『青森ねぶた祭り』を，２月には，県民注目の「チーム青森」出場の『日本カーリング選手権女子決勝』を生中継。３月には，青森放送局のテレビ放送開始50周年を記念した６時間テレソンを編成したほか，雪の恵みによる人と自然とのつながりを２年越しで撮り続けた『映像詩　津軽　雪の里』を全国放送した。

２．地域放送番組

（１）定時番組

『NHKニュース　おはよう宮城』　G

月～金　7:45～ 8:00

第１回00.4.3／宮城県域，一部東北ブロック／各県のニュースのほか広域情報，リポート，中継などNHKのネットワークを活用，東北の動きや

話題を伝えた。／各局タイトル：『おはよう秋田』秋田局，『おはようやまがた』山形局，『おはようういわて』盛岡局，『おはようふくしま』福島局，『おはよう青森』青森局

『ウイークエンド東北』　G　土　7:30～ 8:13

第１回85.10.12／東北ブロック，一部県域／インタビュー，各地を訪ねる「東北小さな旅」，東北の課題を伝える「ウイークエンドリポート」，週末情報などで構成。

『情報テラス東北』『情報テラスみやぎ』　G

月～金　11:05～11:30（管）
11:30～11:54（単）

第１回98.4.8／東北ブロック，宮城県域／暮らしに役立つ情報をきめ細かく伝える。市町村の話題や催しなどのほか，暮らしのヒントなど多様な情報番組。／各局タイトル：『ひるまえこまち』（秋田局），『ＹＹほっとチャンネル』（山形局），『ひるっコいわて』（盛岡局），『くらしのチャンネル』（福島局），『情報ランチ』（青森局）

『てれまさむね』　G　月～金　18:10～18:59

第１回03.3.31／宮城県域／地域密着型のニュース番組。きょう一日の県内の動きをわかりやすく伝えるニュースをはじめ，視聴者の関心の高いテーマを取り上げた。08年６月に発生した「岩手・宮城内陸地震」では総力をあげて取材し，その教訓を踏まえた防災企画にも力を入れた。スポーツコーナーでは，プロ野球「楽天」や，J2「ベガルタ仙台」，bjリーグ「仙台89ERS」など，地域の応援団として密着取材で伝えた。／各局タイトル：『ニュースこまち』（秋田局），『やまがたニュースアイ』（山形局），『おばんですいわて』（盛岡局），『はまなかあいづ　Today』（福島局），『あっぷるワイド』（青森局）

『クローズアップ東北』　G

金　19:30～19:55
㊫翌週日　8:00～ 8:25

第１回02.4.5／原則，第１週は県域，第２～４週は東北ブロック／東北の“今”をクローズアップする番組。地域の課題や時代を先取りする人々にタイムリーに迫った。再放送は字幕放送。／各局タイトル：『クローズアップみやぎ』（仙台局），『あきた・よる金』（秋田局），『クローズアップやまがた』（山形局），『クローズアップいわて』（盛岡局），『クローズアップふくしま』（福島局），『クローズアップあおもり』（青森局）

『ワンダフル東北』　G　金　20:00～20:43

第１回 06.4.7 ／東北ブロック／東北各地の祭りやイベント，紀行番組，東北のすばらしい自然を描いた番組など，多彩なラインナップで構成。

『東北ラジオあさいちばん』　R1

月～金　7:40～ 8:00
土　7:40～ 7:55

第１回99.4.1／東北ブロック／東北各地の話題や交通情報,気象情報などを盛り込んだ情報番組。地域リポーターや支局・報道室からのリポート，スポーツ情報，週末情報などを伝えた。

『情報ボックスみやぎ』新　R1

金　16:05～16:55

第１回08.4.4／宮城県域／週末の情報や旬の食材を使った料理など，生活情報のほか，「川柳・短歌コーナー」では聴取者の川柳や短歌を選者の講評とともに紹介する双方向の情報番組。

『民謡をどうぞ』　R1

水（最終週除く）　21:30～21:55

第１回54.11／東北ブロック／東北の最長寿番組。放送日を水曜に変更し，東北ならではの民謡を，季節に応じたテーマで放送した。

『夕べのひととき』　FM

月～金　18:00～18:50

第１回73.4.2／東北ブロック／音楽を中心としたディスクジョッキー番組。洋楽，邦楽，アーティスト特集など曜日ごとにバラエティーを持たせたラインナップ構成。最新の音楽情報満載の50分。

（２）特集番組

〔東北ブロック〕

『クローズアップ東北スペシャル』　G

19:30～20:43

「住民を巻き込んだ悲劇の戦場～山形県・歩兵32連隊の沖縄戦」
（20:00～20:43）　山形局　5. 9
「大地震に備える」　仙台局　5.30
「山が崩れた～内陸直下　震度６強の衝撃」
仙台局・盛岡局　6.20
「ニューギニアビアク島幻の絶対国防圏～岩手県・歩兵第222連隊」
（20:00～20:43）　盛岡局　7.25
「不況を乗り切る」　仙台局　1.23

『ワンダフル東北』　G　20:00～20:43

「ここに技あり　いわき　風光る技の巻」
仙台局　4. 4
「世界をめざして走れ～職人が挑んだスポーツカー」　仙台局　4.11
「ここに技あり　手仕事あざやか　青森・弘前」　仙台局　5. 2
「あなたに会いたい　この美しき里に生きる」
仙台局　5.23

「ここに技あり　初夏　川の街・盛岡に生きる伝統の技」　仙台局　6. 6
「ここに技あり　鶴岡に伝わる思いやりの技」　仙台局　7. 4
「あなたに会いたい　いのち見つめて」　仙台局・盛岡局　7.11
「どんな患者も診ます～津軽・“総合医”たちの挑戦」　青森局　7.18
「秋田大曲　全国花火競技大会2008」（19:30～20:43）　秋田局　8.29
「ここに技あり　ぬくもり届ける　秋田の技」　仙台局　9. 5
「ここに技あり　仙台・松島おどろきの技めぐり」　仙台局　10. 3
「車いすがくれた夢～藤井新悟選手と仲間たち」　仙台局　10.10
「あなたに会いたい　誇りを胸に　技術で挑む」　仙台局　10.24
「100キロにかける～秋田内陸100キロマラソン」　秋田局　10.31
「ここに技あり　岩手・青森県境　山里に響く技の音」　仙台局　11. 7
「お米のなみだ東北紀行」　仙台局　11.14
「あなたに会いたい　世代をこえて伝えたい」　仙台局・青森局　11.21
「ここに技あり　米沢　ふるさとの技に誇りを込めて」　仙台局　12. 5
「義と愛に戦略あり～直江兼続　敗北からの復活」　山形局　12.12
「クイズ　とことん直江兼続」　福島局　1. 9
「あなたに会いたい　挑戦は終わらない」　青森局・山形局　1.30
「ここに技あり　冬・会津　技を重ねて」　仙台局　2. 6
「あなたに会いたい　生きる元気届けます」　秋田局・山形局　2.20
「厳冬　火の光景を訪ねて」　仙台局　2.27
「ここに技ありスペシャル　こ～んなに技あり東北手しごと大図鑑」　仙台局　3. 6／19:30～20:43

『MONKEY MAJIK スーパーライブ』　G
仙台局　4. 7／ 1:15～ 1:45

『民謡をどうぞ～第2400回記念』　R1
仙台局　6. 4，11，18／21:30～21:55

『東北夏祭りスペシャル　青森ねぶた祭』　G
青森局　8.31／23:35～ 0:50

『放送間近！ドラマ「お米のなみだ」特集』　G
仙台局　9.14／ 8:00～ 8:25

『NHK仙台放送局　開局80周年記念ドラマ「お米のなみだ」』　G　仙台局　9.19／19:30～20:43

『アイデア対決　全国高等専門学校ロボットコンテスト2008～東北地区大会』　G
仙台局　11.16／13:05～13:59

『第８回　冬・北国からのコンサート』　G
仙台局・盛岡局　1.16／19:30～20:43

『第30回　NHK東北民謡コンクール～各県大会』　FM　18:00～18:50
山形（2.13），秋田（2.16），盛岡（2.17），仙台（2.18），青森（2.19），福島（2.20）

『第30回　NHK東北民謡コンクール～優勝大会』　G
仙台局　3.13／19:30～20:43

『伊達者音楽闘技場　Round３』　G
仙台局　3.20／13:05～15:18

〔県域〕

〔仙台局〕

『みやぎラジオプロジェクト　宮城県沖地震から30年～あの日から学ぼう　いのちの備え』　R1　6. 8／14:00～15:55

『秋を先取り！情報ボックスみやぎスペシャル』　R1　8.29／14:40～16:55

『オールリクエスト・ジャズライブ』　FM
9. 6／14:00～16:00

『今年もやります！宗さんのFMリクエストアワー』　FM　9.20／14:00～16:00

『情報ボックスみやぎスペシャル～第８回　NHK仙台・川柳短歌大会』　R1
11.28／14:40～15:00，16:05～16:55

『仙台音楽倶楽部　オータムスペシャルonTV』　G　11.24／ 1:40～ 2:55

『2008　てれまさむね年末スペシャル』　G
12.26／17:05～19:00

『春間近！情報ボックスみやぎスペシャル』　R1　2.27／14:40～16:55

『仙台音楽倶楽部』　FM
（月１回）土　16:00～18:50
10.18／14:00～18:50

〔秋田局〕

『はっしん！エキヨコ！NHK！』　G
4.26／14:00～15:00

『ラジオ特集　日本海中部地震から25年』　R1
5.26／10:05～11:50

『郷土創作オペラ「ねぶり流し物語」』　G
7.27／13:05～15:00

『ニュースこまち年末スペシャル2008』　G
12.26／17:05～19:00

『ラジオ特集　あきた歌謡コンサート』　R1
12.20／21:05〜21:55

〔山形局〕

『やまがたスペシャル』　G
「まいど！岩本勉の山形出会い旅〜ふるさと一番！総集編」　7.18／20:00〜20:43
「米沢　直江兼続の愛」　11. 7／19:30〜20:43
「J1昇格！！モンテディオ山形　夢の舞台へ」
12. 5／20:00〜20:43
「おくりびと受賞記念　映画が町にやって来た〜庄内・映画作りにかける」
3. 1／17:00〜17:45

『なまらナイト』　G・R1
「みんなでなまらナイトin米沢」　R1
4.26／15:00〜15:55
「今夜はなまらナイト」　R1
6.20，　9. 3／20:05〜21:30
「今夜はなまらナイト　秋の夜長のいもスペシャル２」　G　10.24／19:30〜20:43
「今夜はなまらナイト　旅立ちの季節（とき）スペシャル」　G　3. 6／19:30〜20:43

『やまがたニュースアイ　2008ハイライト』
G　12.26／17:05〜18:59

『ラジオ特集　モンテディオ山形　J1へ出陣』
R1　3. 4／20:05〜21:30

〔盛岡局〕

『クローズアップいわてスペシャル』　G
「町でお産ができない」　4. 4／20:00〜20:38

『NHKのど自慢　予選会〜岩手県宮古市』　G
4. 6／14:15〜16:27

『いわてスペシャル』　G
NHK盛岡放送開始70周年「大自然に学んだ！僕らの10日間」　9. 5／19:30〜20:30
「この大地、わが故郷〜豊岡・開拓の60年〜」
10.24／19:30〜20:18
「幸せのフルコース〜いわて丸ごと食の旅〜」
11. 7／19:30〜20:18

『ストップ・ザ・交通事故』　R1
9.18／14:05〜15:00

『いわてアーカイブス』（全６回）　G
第１回　9.13／10:55〜11:40
第２回　9.27／10:05〜11:08
第３回　10. 4／10:05〜11:39
第４回　10.11／10:05〜11:40
第５回　10.18／10:05〜11:15
第６回　10.25／10:05〜11:17

『ラジオ　タイムトラベル』　R1
10. 4／13:05〜15:55

『よるっこいわて』　G　12.26／17:05〜18:00

『おばんですいわて2008』　G
12.26／18:00〜19:00

『第３０回ＮＨＫ東北民謡コンクール　岩手県大会』　G　2. 6／19:30〜20:33

『2008年　NHK盛岡ビデオ便り大賞』　G
12.30／ 7:20〜 8:03

〔福島局〕

『ふくしまスペシャル』　G
「おーい、ニッポン　私の・好きな・福島県ダイジェスト」　5. 2／19:30〜20:43

『主役は福島！みんなのテレビ』　G
「福島を有名にしよう！」　5.23／19:30〜20:43
「元気、出していこう！」　7. 4／20:00〜20:43
「子供が主役！みんなのテレビ」
7.18／19:30〜20:43
「マスコットキャラクター大集合！」
10.24／20:00〜20:43
「福島をおいしくしよう！」
11.14／20:00〜20:43
「マニア大集合！」　1.30／20:00〜20:43
「体操で心も体もぽっかぽか」
2.20／20:00〜20:43

『ワンダフル福島』　G
「ロックが故郷をつないでくれた〜福島裏磐梯の夏」　10.17／20:00〜20:43

『はまなかあいづToday年末スペシャル』　G
12.26／17:05〜19:00

『第５回ふくしま歌謡ライブ』　R1
5.31，　6. 7／21:05〜21:55

〔青森局〕

『祝日特集　千人のおべさま〜津軽ひろさき検定ものがたり』　G　4.29／18:10〜18:44

『ワンダフル青森』　G
「津軽七雪」　4.11／20:00〜20:43
「上原香子さんと行く　とっても秋三味」
12.12／20:00〜20:43

『お国ことばで川柳スペシャル「それいけ！なもあん調査隊」』　G　12.12／19:30〜19:55

『お国ことばで川柳　なもあんだもスペシャル』
G　3. 6／19:30〜20:43

『あっぷるワイド年末ハイライト』　G
12.26／17:05〜19:00

『第30回NHK東北民謡コンクール 青森県大会』
G　2.21／14:00〜15:00

『FMスペシャル　スプリングフレッシュコンサート2009』　FM　3.14／14:00〜15:48

『NHK青森テレビ放送開始50周年記念「カメラが見つめた　青森の半世紀」』
3.20／ 8:35～11:54，13:05～15:20

〔各局共通〕

『第75回　NHK全国学校音楽コンクール』
「宮城県」　E　8.31，9. 6～ 7／FM　9.13
「秋田県」　E　9. 7／FM　9. 6
「山形県」　FM　9.13
「岩手県」　G　9.20～21／FM　9.13～14
「福島県」　FM　9.19～20
「青森県」　G　9.13／FM　9. 6
「東北ブロック」（ブロック）
E　9.27～28／FM　10. 4

3.スポーツ中継（地域放送）

＊ ブロックと特記した以外は県域

〔高校野球〕

春季高校野球
岩手県　準決勝・3位決定戦・決勝
R1／ 5.26～27

第90回全国高等学校野球選手権　地区大会
宮城県　4回戦　R1／ 7.14～15
準々決勝　G・E・R1・FM／ 7.21～23
準決勝　E・R1／ 7.24
決勝　G・R1／ 7.25
秋田県　2回戦～準々決勝
R1・FM／ 7.15～18
準決勝　G・E・R1／ 7.20
決勝　G・R1／ 7.21
山形県　3回戦，準々決勝
R1・FM／ 7.18～20
準決勝　G・E・R1／ 7.22
決勝　G・R1／ 7.23
岩手県　開会式　G／ 7.10
3回戦～準々決勝　R1／ 7.15，17～18
準決勝　G・R1／ 7.20
決勝　G・R1／ 7.21
福島県　3回戦～準々決勝
R1・FM／ 7.17，19～20
準決勝　G・E・R1／ 7.22
決勝　G・R1／ 7.23
青森県　3回戦～準々決勝
R1・FM／ 7.16～17，19～20
準決勝　G・E・R1・FM／ 7.21
決勝　G・R1／ 7.23

第61回秋季東北地区高等学校野球
◇地区大会（準決勝，3位決定戦・決勝）
宮城　R1／ 9.23～24
秋田　R1／ 9.27　R1・FM／ 9.28
盛岡　R1／ 9.20～21
山形・青森　R1／ 9.27～28
福島　R1・FM／ 9.22　R1／ 9.23
◇東北大会（東北ブロック）
1～3回戦　R1／10.10～12
準決勝　R1・FM／10.13
決勝　FM／10.14

〔その他のスポーツ〕

プロ野球「楽天」（仙台局・東北ブロック）
対「オリックス」　R1／ 4.11
対「オリックス」　G／ 4.13
対「ソフトバンク」　R1／ 4.22
対「オリックス」　R1／ 5.15
対「西武」　G／ 5.16
対「横浜」　R1／ 5.23
対「阪神」　R1／ 6. 3
対「ヤクルト」　R1／ 6.12
対「ロッテ」　G／ 7.12
対「オリックス」　R1／ 9. 2
対「日本ハム」　R1／ 9.16
対「オリックス」　G／ 9.26
対「ソフトバンク」　R1／ 9.29
対「日本ハム」　R1／10. 1

サッカーJ2リーグ
「ベガルタ仙台」（仙台局）
対「モンテディオ山形」　G／ 5.18
対「水戸ホーリーホック」　G／ 9.28
対「サガン鳥栖」　G／11.30
対「ジュビロ磐田」（入れ替え戦）　G／12.10
対「ジュビロ磐田」（入れ替え戦）　G／12.13
対「コンサドーレ札幌」　G／ 3. 8
「モンテディオ山形」（山形局）
対「ベガルタ仙台」　G／ 6.15
対「ロアッソ熊本」　G／11.23
対「愛媛FC」　R1／11.30

女子サッカー　なでしこリーグ「マリーゼ」（福島局）
対「TASAKIペルーレFC」　G／ 5.11
対「浦和レッズレディース」　G／ 7.13
対「TASAKIペルーレFC」　E／11.16

フットサル　Fリーグ「ステラミーゴいわて花巻」（盛岡局）
対「湘南ベルマーレ」　G／ 7.27
対「シュライカー大阪」　G／11.30
対「名古屋オーシャンズ」　G／ 2. 1

天皇杯サッカー　各県代表決定戦
宮城・秋田・山形・岩手・福島・青森

G／ 8.31
バスケットボール　bjリーグ「仙台89ERS」（仙台局）
対「浜松・東三河フェニックス」　G／10.18
対「大阪エヴェッサ」　G／ 3.15
NHK杯東北高校選手権大会（東北ブロック）
ラグビー　福島局　E／ 6.22
バスケットボール　福島局　E／ 6.29
バレーボール　盛岡局　E／ 6.29
ラグビー　トップイースト11
「秋田ノーザンブレッツ」対「栗田工業」
秋田局　G／11. 2
第50回NHK杯青森県卓球選手権大会
青森局　G／11.30
第26回日本カーリング選手権大会
青森局　G／ 2.15

Ⅱ．技　術

１．地域番組の制作

金曜夜間の充実と公開番組・地域のスポーツ番組の定着を図るとともに，開局80周年記念ドラマ『お米のなみだ』や『NHK歌謡コンサート』など地域放送の充実に努めた。また，MAスタジオ更新やHVノンリニア編集設備の導入を行い，デジタル時代の地域放送の質の向上に努めた。

データ放送充実のため，L字「楽天イーグルス速報」や「東北おでかけ情報」を開発し放送した。

２．緊急報道・選挙報道

岩手・宮城内陸地震では，東北域内，東京，関東甲信越のCSKとヘリコプターが緊急対応し，災害情報・生活情報を逆L字放送で実施した。

近い将来高い確率で発生が予想される宮城県沖地震や自然災害，事件・事故に備え，実践的な想定訓練や設備整備に努めた。選挙放送に向けて準備を行い，東北域内も含めた選挙対応を行った。

３．放送設備整備

仙台放送会館の自家発電装置や受配電設備，空調配管設備など,老朽化した会館共通設備を更新。また，ラジオ・FM回線を光回線に更新するとともに，教育デジタル放送のワンセグ独自放送の設備整備を行った。緊急報道強化と地域放送充実に向け，東北域内の空港カメラ，仙台局・いわき支局・八戸支局のニュースカー，東北域内各局の緊急パック，秋田局デジタルCSK，青森局中継車のハイビジョン化整備を行った。

域内の地上デジタル基幹局６局の放送機（１系）にUPSを追加し，電源系統を強化。秋田・大森山FM，福島・安積Rなどの放送機を更新。

４．電波サービスの充実

東北域内で新たに50局のデジタル中継局を整備し，地上デジタル放送の世帯カバー率は，08年の87％から92％に向上した。年間５回の電波確保重点月間を設定し，NHKアイテックと連携した電波サービスの安定運用に取り組んだ。

５．デジタル放送の普及促進

デジタル放送の普及を図るため，プロ野球「楽天戦」などのスポーツイベントと連動した活動や高齢者を対象とした「地デジ受信出前講座」の開催，ゴースト障害やスポラディックE層障害に強いデジタル放送の特徴を活かした普及活動などを実施した。『情報テラス』など地域放送や地域イベントでデジタル受信PRを実施。デジタル中継局の開局を機に関連情報を提供し，技術講習会を催すなど，電器店や量販店とも連携。

６．良好な受信環境の確保

地上デジタル放送のネットワーク構築に向けて受信状況把握を進め，視聴者からの受信相談に的確に対応した。建造物障害対策が円滑に進むよう，CATV技術協会などに対して障害予測の講習会や情報提供を実施。老朽化したNHK共聴29施設に光ファイバーを用いた改修工事を実施。384施設に地上デジタル放送受信設備を導入した。

Ⅲ．視聴者

１．イベント事業

（１）視聴者・地域と一体となったイベントの展開

東北各局で，『NHKのど自慢』などの公開番組や『ラジオ体操・みんなの体操会』を39本実施したほか，ターゲット76〔名取市（４～５月），村山地方（５～７月），由利本荘市（６～７月），二本松市（６月），会津若松市（５～６月），北上市（６～８月），南部町（10月）〕を実施した。

また，「NHKあきたまるごと宇宙デー」（秋田市　8.2～3），「NHKスポーツトークショーin福島大学」（福島市　7.9），「みてハッスル☆きいてハッスル」（盛岡市　2.3，10），「あつまれ！パパサ

ウルス」（仙台市　2.15），「伊達者音楽闘技場Round 3」（仙台市　3.8）などの地域企画イベントを実施。さらに視聴者とのふれあいを深める「わくわくテレビまつり」（仙台市　8.19～20）や「会館公開イベント」（各局）を実施した。

（2）東北ブランドのイベント

『第8回冬・北国からのコンサート』（12.19）を奥州市で実施。「故郷を思う歌」をテーマに地元岩手県ゆかりの歌手が歌う北国の名曲でつづり，岩手・宮城内陸地震の被災者も元気づけた。

また，「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」の前夜祭イベント（9.12）を開催した。

このほか平泉の文化資産を紹介する展覧会「平泉～みちのくの浄土」を仙台市博物館で実施（11.14～12.21），その後福岡と東京を巡回した。

（3）地域に根づいたイベント活動

①NHK全国学校音楽コンクール

各県大会と東北ブロックコンクール（9.13～14）を実施。東北代表に郡山市立大島小学校，弘前市立小沢小学校，郡山市立郡山第二中学校，湯沢市立湯沢南中学校，福島県立安積黎明高校が選ばれた。全国コンクールでは，郡山市立郡山第二中学校が金賞，弘前市立小沢小学校が銀賞，福島県立安積黎明高校が銀賞を受賞した。

②第30回NHK東北民謡コンクール

東北6県と新潟県で県大会，宮城県多賀城市で優勝大会（2.22）を実施。各県大会には18歳以下のジュニア部門に43人，19歳以上の大賞部門に557人が応募。優勝大会の「大賞」は菊池智宏さん（宮城県），「ジュニア大賞」は山上衛さん（秋田県）。

③第26回NHK東北ふるさと賞

東北各県のさまざまな分野で顕著な成果をあげ地域活性化に貢献した個人・団体6件を顕彰した。受賞者は，鳴子の米プロジェクト（宮城県），100キロチャレンジマラソン実行委員会（秋田県），志鎌節郎さん（山形県），大井利江さん（岩手県），川本和久さん（福島県），小倉尚継さん（青森県）。

2．営　業

08年度は，10月からの訪問集金の廃止や障害者免除の拡大，09年2月からの家族割引の拡大や事業所割引の導入などさまざまな営業改革に着手する一方，3か年経営計画の最終年度として受信料収入の確保と公平負担の徹底に向けて活動した。

訪問集金の廃止にあたり，口座振替利用者の拡大に努めるとともに地域スタッフの体制を改め，訪問集金にかけてきたパワーをシフトして，未契約者対策や未収者の削減に取り組んだ。

07年度宮城県で開始した民事手続きによる支払督促は，08年度から福島県域にエリアを拡大した。また，賃貸不動産会社や大学生協への契約取次業務の委託をさらに拡大し，面接困難層や学生に対する契約開発を強化した。こうした活動により08年度末の東北地方の放送受信契約数は296万1,440件，衛星契約数は120万6,811件となった。

3．広　報

（1）多彩なイベントと広報活動の展開

8月，仙台市でファミリーふれあい活動として「わくわくテレビまつり」を実施し，約1万5,000人が訪れた。11月，サッカーJ2リーグ「サガン鳥栖」対「ベガルタ仙台」の試合をスタジオ公開し，若い世代のサッカーファンを集めた。

山形局では，山形弁で語らうトーク番組『今夜はなまらナイト』の公開放送やインターネットサービスの充実を図るなど，方言を通じ幅広い視聴者層が共感できる取り組みを展開。福島局では，番組公開ライブラリーの全国での利用者数100万人突破記念のイベントなどを実施した。

（2）番組広報

仙台局では，開局80周年を記念してドラマ『お米のなみだ』を制作し，ポスターやチラシ，ホームページでアピールした。放送は，9月（総合・東北ブロック），10月（総合・全国），1月（BS2・全国），3月（総合・全国）と東北ブロックと全国で計4回放送し，メールや電話で反響が多数寄せられた。

（3）視聴者との結びつき強化の取り組み

東北各局で，「NHKふれあいミーティング」を公開番組やイベント，昼前の生活情報番組，地上デジタル講習会などと連動し積極的に展開し，NHKへの理解促進活動に努めた。

会館公開は，山形局（12月），盛岡局（10月），福島局（7月），郡山支局（10月），青森局（11月）に実施し，視聴者とのふれあいを深めた。ホームページや携帯サイト，メールマガジンの充実を図り，視聴者との結びつき強化に取り組んだ。

（4）公共放送ならではのイベント展開

仙台局では07年に引き続き，学校や地域を対象とした地震防災教室を計6回実施し，災害報道の重要性を伝えた。

盛岡局では12月の「NHK歳末たすけあいNHK海外たすけあい」にあわせて，市内のショッピングセンターで「ふれあい広場・出張版！」を実施し，募金の呼びかけを行った。